

# ポジティブ行動支援 (PBS) の 推進準備／実行度チェックリスト

大阪教育大学  
庭山和貴

## 本日の内容

- ポジティブ行動支援 (PBS) の基本
- PBS推進準備チェックリストについて
- PBS実行度チェックリストについて

## 自己紹介： 庭山 和貴 (にわやま かずき)

### 所属

大阪教育大学 総合教育系 高度教職開発部門 准教授／学長補佐  
博士(心理学)、公認心理師

日本ポジティブ行動支援ネットワーク(APBS Network JAPAN)副代表理事

### 専門

学校規模ポジティブ行動支援 (SWPBS/PBIS)

応用行動分析学に基づく発達障害／知的障害のある子どもへの支援

### 関わりのある事業(一部)

徳島県教育委員会 新時代「発達障がい教育」

推進プロジェクトチーム

大阪市教育委員会 エビデンスベースの学校改革

特別支援教育専門家チーム・アドバイザー

尼崎市教育委員会 教育振興審議会委員、学校支援専門家派遣事業

## ポジティブ行動支援 (PBS/PBIS) とは…

教職員の「こんな姿になって欲しい」

児童生徒の「こんな姿になりたい」を

実現するための枠組み

※特定のプログラム・手法ではありません



ポジティブな行動を  
ポジティブな(かつ効果が実証された)アプローチで  
伸ばしていくのが特徴

→子どもとその関係者のQOL／ウェルビーイング向上が目的

## 重要な考え方

困った行動への事後的対応だけでなく

→「望ましい行動を増やすアプローチ」

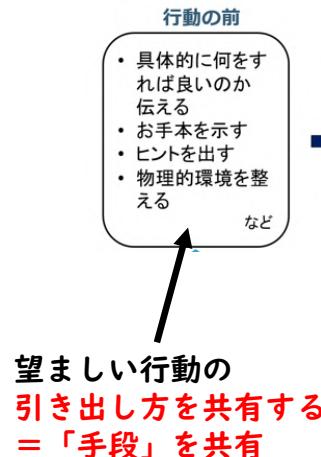
困った行動



望ましい行動



学校全体で取り組めると、より効果的！



ポジティブ行動支援では…

行動の前

- ・具体的に何をすれば良いのか伝える
- ・お手本を示す
- ・ヒントを出す
- ・物理的環境を整える
- など



目標を明確に！

子ども達が  
「こうすれば良いのか」  
「やってみよう」  
「できるかも」  
と思える仕掛けを作る！

行動の後

- できている事へのポジティブ・フィードバック
- ・褒める・認める
- ・メッセージ
- ・シールで視覚化
- ・グラフ化
- ・丸つけ、花丸
- など

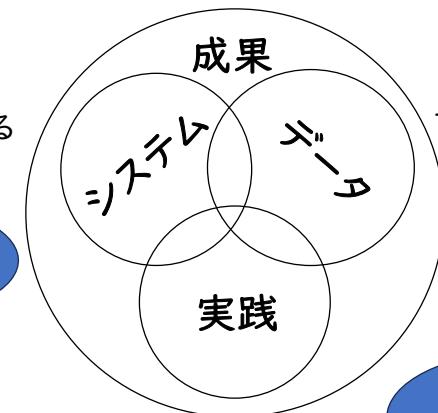
子ども達にとって  
「やった！」「できた！」  
「頑張った！」  
と思える仕掛けを作る！

学校規模ポジティブ行動支援 (SWPBS) の要素

社会性・学業面の向上

教職員に対する  
サポート

大人への  
支援



児童生徒に対する  
サポート

子どもへの  
支援

(Sugai & Horner, 2002)

# 学校規模ポジティブ行動支援(SWPBS)を実行するための4段階

(若林・半田・田中・庭山・大対, 2023)

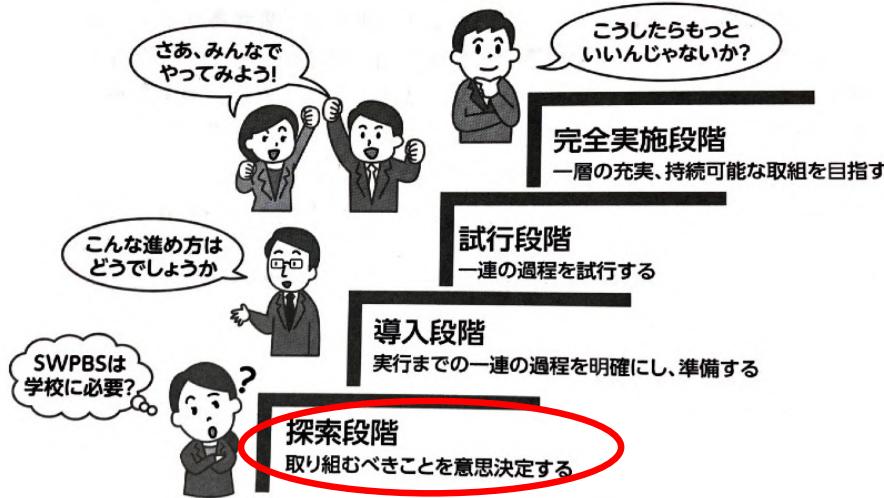


図 1-3-1 SWPBS 実行の 4 段階

37 頁 参照

ポジティブ行動支援を校内で推進していくために、何からしたらよいの？



## ポジティブ行動支援(PBS)推進準備チェックリスト(とくしま県版)

学校名

職名 記入者名

番号	項目内容	得点の基準	点数
1	管理職とPBS担当者を含むPBSの校務分掌もしくは校内組織が構成されている(既存の部会・委員会がこの役割を担ってもよい)	0:PBS担当者と、PBSを運営する校内組織のどちらも存在しない 1:PBS担当者と、PBSを運営する校内組織のどちらかが存在する 2:PBS担当者と、PBSを運営する校内組織の両方が存在する	
2	PBS実践者は、定期的(月に1回程度)に実行状況について、PBS担当者(もしくは、一緒に取組に携わる教員)と打ち合わせをしている(学年会や校務分掌の会議の一部としてなどでも可)。打ち合わせ時間は問わない	0:年間において、一度も打ち合わせをしていない 1:年間において、不定期で打ち合わせをしている 2:年間において、定期的(月に1回程度)に打ち合わせをしている *年度当初のチェックでは昨年度について、年度末のチェックでは、今年度について回答	
3	PBS実践者が取り組んでいる、望ましい行動は何かを教えること、望ましい行動を引き出すための工夫をすること、望ましい行動を承認・称賛することなどについて、学校・園全体の教員に周知されている	0:学校・園の教員に周知されていない 1:学校・園の一部(実践に関わる教員を含まない)に周知されている 2:学校・園全体の教員に周知されている	
4	PBS実践者は、PBSの実践に関して、何らかの記録やデータを取り、それを定期的に教員間で共有したり、児童生徒へのフィードバックに活用したりしている	0:記録やデータを取ることはしていない 1:記録やデータを取ってはいるが、教員間で共有したり、児童生徒へのフィードバックには活用したりしていない 2:記録やデータを、教員間で共有したり、児童生徒へのフィードバックに活用したりしている	
5	全ての教員が参加するPBSの実践に取り組むための研修が計画もしくは実施されている(年に1回以上、15分程度のミニ研修も含む)	0:PBSについての研修を計画・実施していない 1:一部の教員が参加するPBSについての研修を計画・実施している 2:全ての教員が参加するPBSについての研修を計画・実施している	
6	管理職は、総合教育センターが主催する「PBSパワーアップセミナー」について知っており、PBS担当者を派遣することに賛同している。	0:セミナーを知らない、かつ、セミナーの参加に賛同していない 1:セミナーへの参加を検討している	

# 学校規模ポジティブ行動支援(SWPBS)を実行するための4段階

(若林・半田・田中・庭山・大対, 2023)



図 1-3-1 SWPBS 実行の 4 段階

37 頁 参照

## ポジティブ行動支援(PBS)実行度チェックリスト(とくしま県版)

資料2

番号	項目内容	得点の基準	点数
1	PBS担当が複数配置されており、管理職とPBS主担当を含むSWPBSの校務分掌もしくは校内組織が構成されている(既存の部会・委員会がこの役割を担ってもよい)	0:PBS担当者と、SWPBSを運営する校内組織のどちらも存在しない 1:1名の担当者と、SWPBSを運営する校内組織のどちらかが存在する 2:複数の担当者と、SWPBSを運営する校内組織の両方が存在する	
2	上記のSWPBS校内組織は定期的(月に1回程度)に実行状況について打ち合わせをしている(職員会議、校務分掌の会議の一部としてなどでも可。打ち合わせ時間は問わない)	0:年間において、一度も打ち合わせをしていない 1:年間において、不定期で打ち合わせをしている 2:年間において、定期的(月に1回程度)に打ち合わせをしている *年度当初のチェックでは昨年度について、年度末のチェックでは、今年度について回答	
3	教員(または児童生徒)の合意形成をもとに、何が望ましい行動なのかを示すポジティブ行動マトリクスが作成され、校内各所に掲示されている	0:ポジティブ行動マトリクスが作成されていない 1:ポジティブ行動マトリクスが作成されているが掲示されていない 2:ポジティブ行動マトリクスが作成されており、校内に掲示している	
4	マトリクス上の望ましい行動が、全児童生徒に具体的な説明とお手本(児童会・生徒会による劇やロールプレイ、モーデリングビデオの作成、視覚的支援など)を用いて教えられている	0:マトリクス上の望ましい行動が、教えられていない 1:マトリクス上の望ましい行動について、各教員の裁量に任された状態で教えられている 2:マトリクス上の望ましい行動について、学校全体で指導計画や指導方法の共有がされており、具体的な説明とお手本を用いて教えられている	
5	学校・園として、児童生徒の望ましい行動に対してポジティブなフィードバックを行ったための計画が作成され、教員間で共有されており、教員の9割以上が実際にポジティブなフィードバックを行っている 【2点の例】あいさつができた児童生徒に対してチケットを渡すとともに、称賛することに、全教員が取り組んでいる 【1点の例】チャイム着席ができる児童生徒を称賛するとともに、よくできた学級には賞状を授与する取組を学年全体で行っている	0:学校・園として、望ましい行動に対してポジティブなフィードバックを行うための方法が計画・共有されていない 1:学校・園として、望ましい行動に対してポジティブなフィードバックを行うための方法が計画・共有されており、一部の教員が行っている 2:学校・園として、望ましい行動に対してポジティブなフィードバックを行うための方法が計画・共有されており、教員の9割以上が行っている	
	各学級においても、望ましい行動は何かを教えること、望ましい行動を引き	0:各学級においては、学校・園全体と同じ方向性でPBSの実践が行われていない 1:一部の学級において、学校・園全体と同じ方向性でPBSの実践が行われ	

## SWPBSは複数の要素からなる枠組み



望ましい行動へのポジティブなフィードバック



全校的な望ましい行動の教示

徳島県立総合教育センター「特別支援まなびの広場」  
(<http://manabinonihiroba.tokushima-ed.jp/>)

いずれもSWPBSの「実践の一部」ではあります

## 学校全体でポジティブ行動支援に取り組むには、何をしたらよいの?



では、何をすることが  
「SWPBS」なのでしょうか?



全校的な望ましい行動の  
スキルトレーニング

→SWPBSとは何をすることか?という「全体像」を示し、必要な要素をどれだけ実行できているか数値化可能にしたものとして **実行度尺度** (Implementation fidelity measure) というチェックリストがあります

## 日本語版 Tiered Fidelity Inventory (TFI)

※SWPBSがどこまで実行できているか?のチェックリスト

第1層支援

チーム	1.1 チーム構成
	1.2 チームの運営手順
実践	1.3 「学校で期待される姿」の設定
	1.4 目標行動の指導
	1.5 問題行動の定義
	1.6 生徒指導の方針
	1.7 教職員研修
	1.8 学級の手続き
	1.9 フィードバックと承認
	1.10 教員の関与
	1.11 児童生徒／保護者／地域の関与
評価	1.12 生徒指導に関するデータ
	1.13 データに基づく意思決定
	1.14 実行度のデータ
	1.15 年度評価

(日本ポジティブ行動支援ネットワーク, 2022)

具体的な項目はこちら  
からご覧になれます

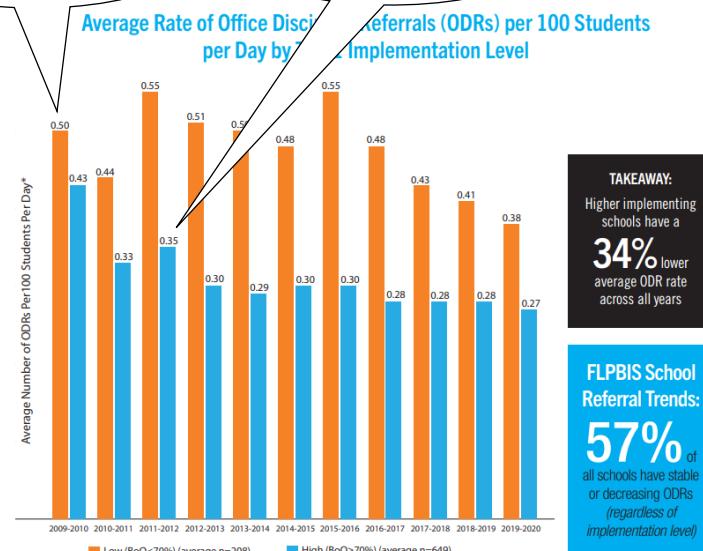


## 第1層支援:学校全体に対する SWPBS の特徴

特徴	利用可能な情報源	得点化の基準
下位尺度:チーム		
1.1 チーム構成:	・学校組織図 ・第1層支援チーム ・会議の議事録	0 = 第1層支援チームが存在しない、または、コーディネーター、校長、応用行動分析学の専門性を持つ者を含んでいない。  1 = 第1層支援チームが存在するが、必要な役割全員を含んでいないか、またはそれらのメンバーの会議の出席率が 80%未満である。  2 = コーディネーター、管理職、必要な役割全員が含まれた第1層支援チームが存在し、かつ役割全員の会議の出席率が 80%以上である。

実行度の低い  
学校(208校)

実行度の高い  
学校(649校)



<https://www.livebinders.com/play/play?id=2237091>

しかし、TFIは専門家と一緒に評価する必要があり、1回45分～1時間程度かかります

→そこでTFIの簡易版として、  
とくしま版実行度チェックリスト  
を作成しました

## 注意点として…

「実行度チェックリスト」は決して、  
学校現場の実践を縛るものではありません！

実行度の得点が算出できるようにはなっていますが、得点を上げることそのものは最終目標ではありません

→目標はあくまで各校のPBSの取組みの充実と、  
それを通じて児童生徒・教職員の利益に繋げることです

校内のPBS推進体制を整えていくうえで、  
「改善点はどこだろう?」「もっとできることは?」  
と考える際の参考にして頂くためのものです

例えば…



## 項目 1

管理職とPBS主担を含むスクールワイドPBSの校務分掌  
もしくは校内組織が構成されている  
(既存の部会・委員会がこの役割を担ってもよい)

## PBS推進担当



## PBS推進を担当する 校務分掌・組織 (公式な位置づけあり)



## 項目 2

上記のPBS校内組織は定期的（月に1回）に実行状況について打ち合わせをしている（職員会議、校務分掌の会議の一部としてなどでも可。会議時間は問わない。）

そろそろ打ち合わせ  
をしないと！

定期的に打ち合わせをしている（月1回程度）



ではなく…



例えば…

### 1 学期 (Plan)

- ①教員の PBIS の理解を深め、指導の際の共通の価値観を共有する

- ・職員研修の実施 (済)

- ・職員室マトリクスの作成、教師間 GB チケットの実施 (済)

## ②全校生徒への説明＋生徒マトリクスの作成

- ・生徒マトリクスの作成、運営方法については各学年担当の裁量で実施 (済)

### ③生徒会担当との打ち合わせ

- 中の行動目標に合わせ、理想的な行動とそうでない行動を対比するようなビデオを制作する。制作にあたり、キャスト・脚本等を打ち合わせる。

## 2学期 (Do+Check)

## ①生徒マトリクスの再評価

- ・できているものに○をつけ、未達成の項目について評価・対策を練る
  - ・必要であればマトリクスの内容を改善する

## ②職員室マトリクスの再評価

- ・研修実施。達成項目に○をつけ、未達成の項目について職員室キャンペーンを開催する
  - ・必要であればマトリクスの内容を改善する

### ③大学教員による研修

- ### ・進捗の確認

## 項目 3

何が望ましい行動かの教員（または児童生徒）の合意形成をもとに、ポジティブ行動マトリクスが作成され、校内各所に掲示されている

校内各所に掲示されているでしょうか？

		きまりを守ろう	自分も友だちも大切にしよう	すけなことはかけよう
授業中(教室)	□ 教室が乱された時の次の事の準備をしよう	□ 亂してしまった時の方へ向けて向こうで	□ 「どうすまうのうらやま」等の言葉をおう	□ 「どうすまうのうらやま」等の言葉をおう
	□ 教室が乱された時に乱さないままで本と手紙と一緒に机の上に用意しよう	□ 「間違で」「どうすまうね」「わざりまわらう」「どうすまうね」等の言葉で乱さない間に用意しよう	□ 教室をさわる「はい」「はい」と書こう	□ 教室をさわる「はい」「はい」と書こう
体育(体育館)	□ すばやく集合・整列しよう	□ 運動会の運営を行って、運営手帳の記入をしよう	□ 自分の分の音楽をよく聴いて、自分の音楽をよく聴いて	□ 自分の分の音楽をよく聴いて、自分の音楽をよく聴いて
	□ 乱さない場所は元の場所にむどりを	□ 運動会の運営を行って、運営手帳の記入をしよう	□ その人の分をみんなに聴かせよう	□ その人の分をみんなに聴かせよう
そろい	□ そろい場所に決められた場所にそろいそろいをしよう	□ その人の分を自分が聴いて、他の人の分を聴かせよう	□ そろいの人にあの人をうつすまう	□ そろいの人にあの人をうつすまう
	□ 自分の担当場所をモソモソ開拓しないでいい	□ その人の分を自分が聴いて、他の人の分を聴かせよう	□ そろいの人にあの人をうつすまう	□ そろいの人にあの人をうつすまう
休憩休み	□ ドリンクを今までよりもさらに楽しむ	□ おもてなしするときには「あしたとおもてなし」と書かれて「おもてなし」と読み	□ 友達に「あがひ」と書く	□ 友達に「あがひ」と書く
	□ おもてなしをいからうに飲食を楽しむ	□ おもてなしするときには「あしたとおもてなし」と書かれて「おもてなし」と読み	□ おもてなしをいからうに飲食を楽しむ	□ おもてなしをいからうに飲食を楽しむ
うらか	□ うらやまの言葉、ペランダではお側をねこ	□ からがうは「どうがれわちがう」とは「どうぞ」と書いてある	□ おもてなしをいからうに飲食を楽しむ	□ おもてなしをいからうに飲食を楽しむ
	□ くつづきのくつやトレーラスリッパをさよるよ	□ からがうは「どうがれわちがう」とは「どうぞ」と書いてある	□ おもてなしをいからうに飲食を楽しむ	□ おもてなしをいからうに飲食を楽しむ

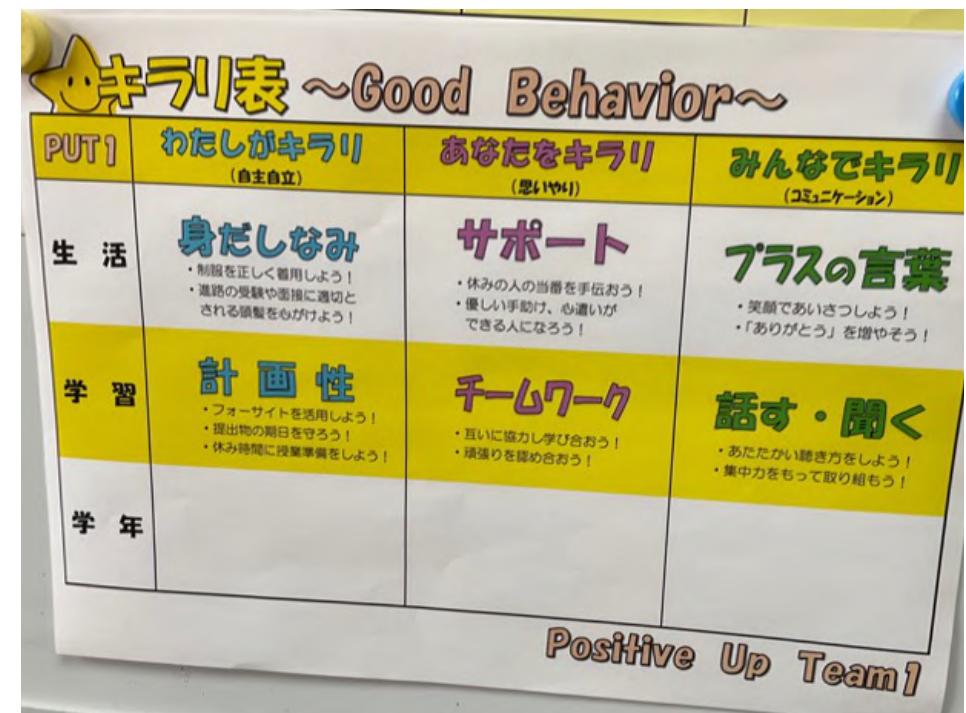




第1版

友情満開プロジェクト ～心に花を咲かせよう～			
	あいさつ満開	やる気満開	つながり満開
授業	<b>元気ハツラツ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業はあいさつからみんなでつくろう</li> <li>イスを直し、正しい姿勢で発声しよう</li> </ul>	<b>チャイム前着席</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>最高のスタートを切ろう</li> <li>(2分前入室・授業準備・着席)</li> </ul>	<b>自分も大事 みんなも大事</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分も相手も大切にできる関わりを心がけよう（アサーション）</li> <li>「ここわからない」や「ここわかる？」と自然と助け合える雰囲気をつくろう</li> </ul>
休み時間	<b>あいさつの早押し</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分から進んであいさつしよう</li> <li>安心してあいさつできる雰囲気をつくろう</li> </ul>	<b>一日一ほめ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達や自分のいいところを見つけよう</li> <li>ものごとを色々な角度で見れるようになろう（リフレーミング）</li> </ul>	<b>「困った」が言える</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達や大人、好きなこと困難な時に自分を助けたり支えになるものがある（レジリエンス）</li> </ul>
マナー・責任	<b>です。ます。マスター</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉の意味を理解して使おう</li> <li>美しい言葉を進んで使おう</li> <li>自分の言葉に責任を持とう</li> <li>「ありがとうございます」「失礼します」</li> </ul>	<b>給食職人</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>マスク、エプロン、三角巾の準備</li> <li>ランチョンマットの準備</li> <li>熟食の徹底</li> </ul>	<b>いつも仲間思い</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の気持ちを想像しよう</li> <li>オンラインでの投稿、発言</li> <li>使う責任、消えない一言</li> </ul>

各掲示場所に適したマトリクス掲示が  
されているとベスト！！



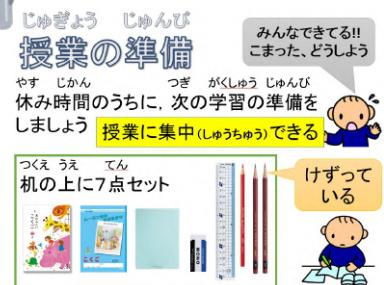
## 項目4

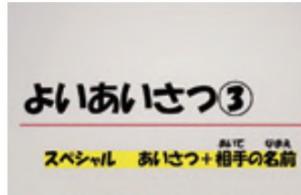
マトリクス上の望ましい行動が、全児童生徒に具体的な説明とお手本(児童会・生徒会によるモデル、モーデリングビデオの作成、視覚的支援など)を用いて教えられている

### 具体的なお手本



### 視覚的支援





スペシャル あいさつ+相手の名前

モデリング動画の内容



撮影の様子



あいさつのポイント紹介



あいさつの仕方の解説



練習セッション



モデリング動画の視聴

<https://manabinohiroba.tokushima-ec.ed.jp/file/354>



「すてきなあいさつをしよう」の取組で用いられている  
掲示物 それぞれのポイントが示されている

<https://manabinohiroba.tokushima-ec.ed.jp/file/354>



話者に注目する練習場面



教示用スライドの一部



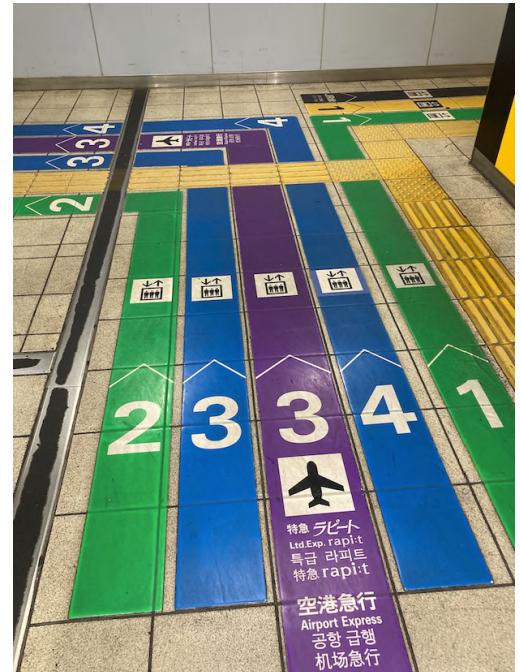
練習場面では、たくさんの意欲的な児童たちから手が挙がり、話す人に素早く身体を向けて、聞く姿勢になることができていました。



教示用スライドの一部

話す人を「太陽」、聞く人を「ひまわり」に見立てて、実際に練習を行っています。

## 日常的な視覚支援の例



<https://manabinohiroba.tokushima-ec.ed.jp/file/354>

## 項目5

学校として、児童生徒の望ましい行動に対して  
ポジティブなフィードバックを行うための方法が  
計画かつ教員間で共有されており、教員の9割以上  
が実際にポジティブなフィードバックを行っている



チケット



シール・スタンプ

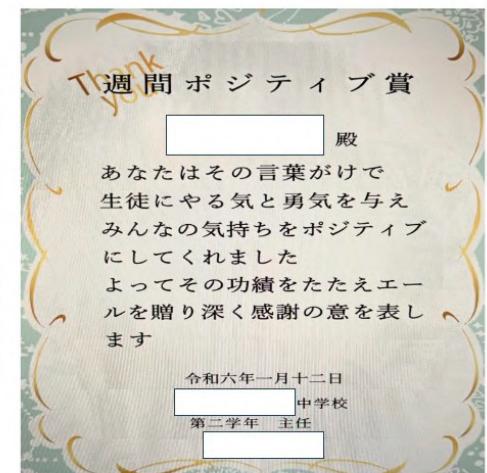
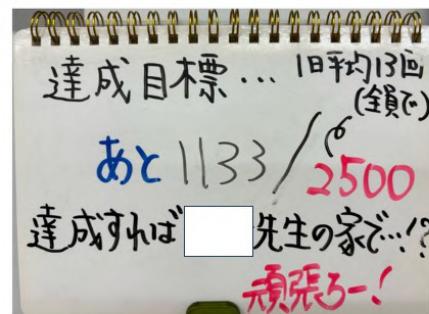


賞状



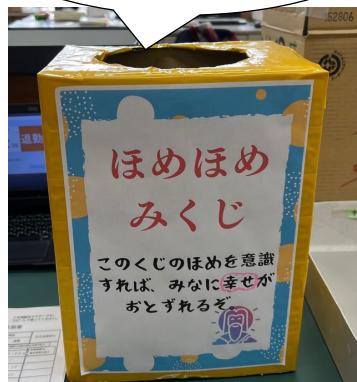
グラフフィードバック

## 口頭のポジティブ・フィードバックを増やす 教職員キャンペーンをするパターン



## 口頭のポジティブ・フィードバックを増やす 教職員キャンペーンをする パターン

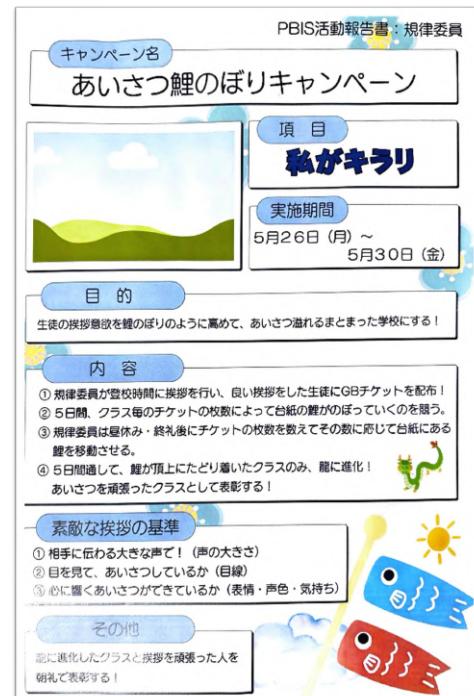
いつもボールが入っており、  
「授業中に10人褒める(いつも褒めない子を中心)」  
「あいさつを褒めよう」など  
と書かれている



## シールを使うパターン



## 掲示物を完成させるパターン





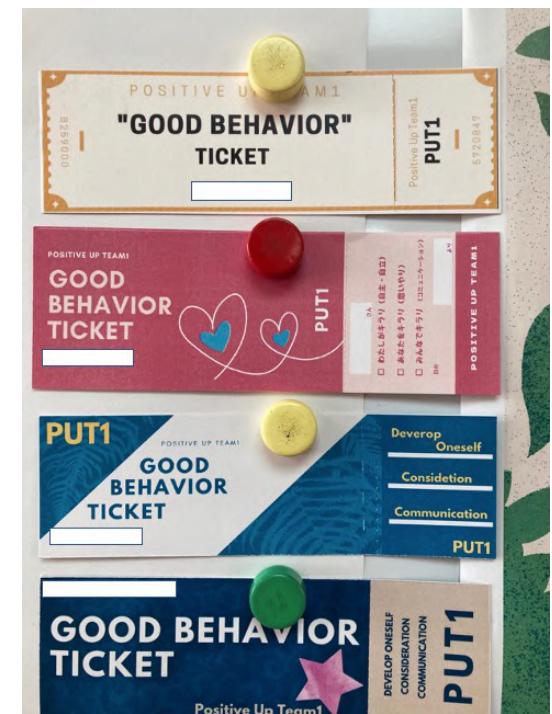
キャンペーンについて、  
評価・振り返りをするため  
のスペースを空けておく

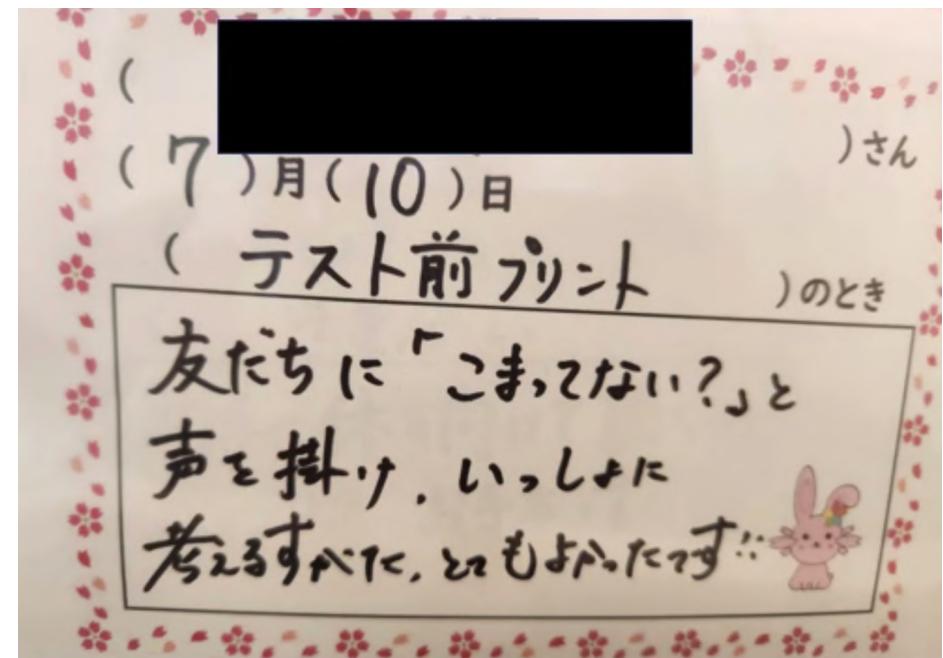
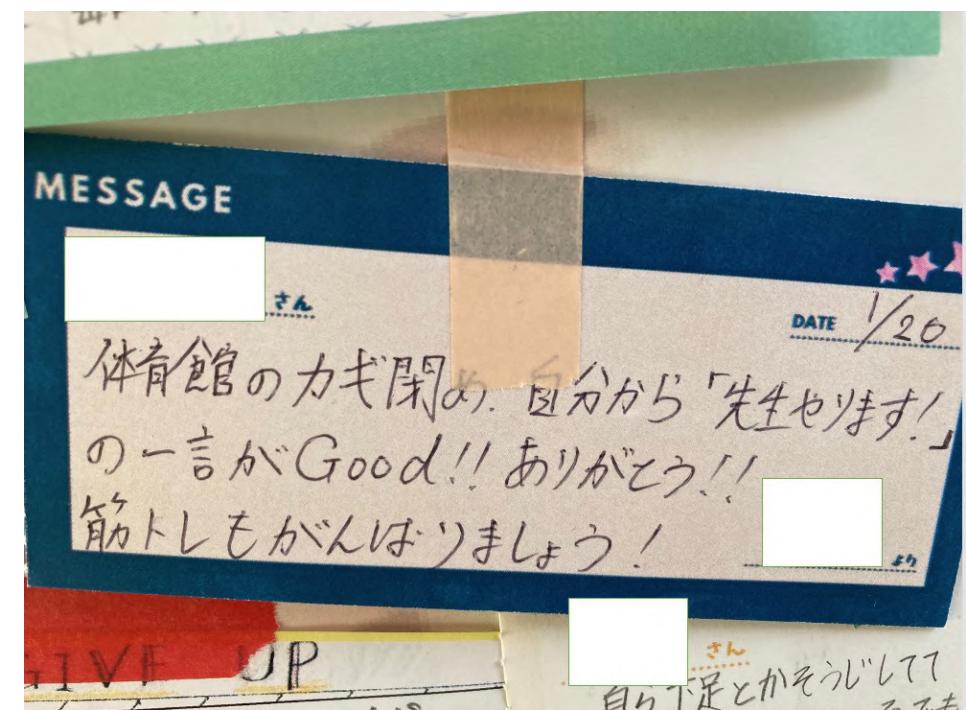


## おみくじパターン

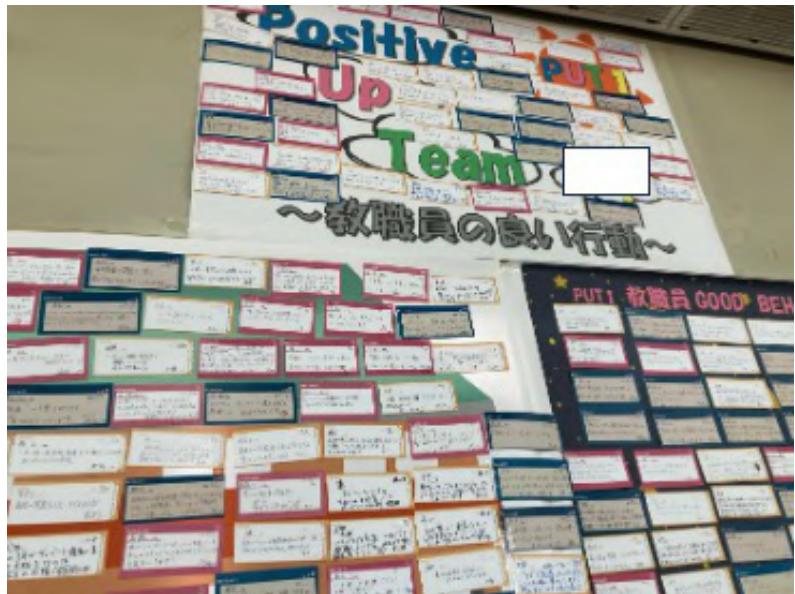


チケット・付箋に  
メッセージを書く  
パターン





### 教職員間のチケット（期間限定で実施）

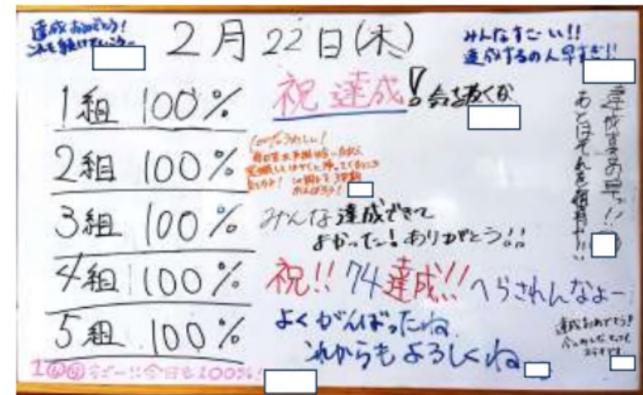


## 子どもの行動の変化を写真・動画に撮ってフィードバックに活用するパターン

うわぐつ、きれいにそろってました！



## グラフ・表で達成率を示すパターン



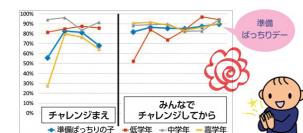
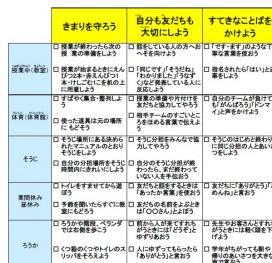
## 項目 6

各学級においても、望ましい行動は何かを教えること、望ましい行動を引き出すための工夫をすること、望ましい行動を承認・称賛することなど、学校全体と同じ方向性でPBSの実践が行われている

## マトリクスは 教室内にも掲示？

教室内でも望ましい  
行動が教えられています

ポジティブなフィード  
バックは教室内でも?



## 項目7

全ての教員が参加するPBSの実践に取り組むための研修が計画もしくは実施されている  
(年に1回以上、15分程度のミニ研修も含む)

講義形式



ワークショップ形式



※どのような形式でもよいが、  
全教員対象のPBS研修が年1回はあることが大切

## 項目8

年1回は、学校全体で行っているPBS実践内容とその成果について、全教員で振り返る機会を設けている(マトリクスの内容、望ましい行動の教え方、フィードバックの方法など)

今年度のPBSの実践内容と成果について(データをもとに)  
振り返る



次年度の改善計画も立てられるとベスト!!



## 項目9

学校・園でのポジティブな行動支援の取組について、  
過去1年以内に地域住民や保護者へ情報を発信している  
(お便りや学校運営協議会での報告など)

お便りでの発信



学校運営協議会での報告・意見交換

本校のポジティブ行動マトリクスの内容は…

ポジティブ行動支援の実践としては…



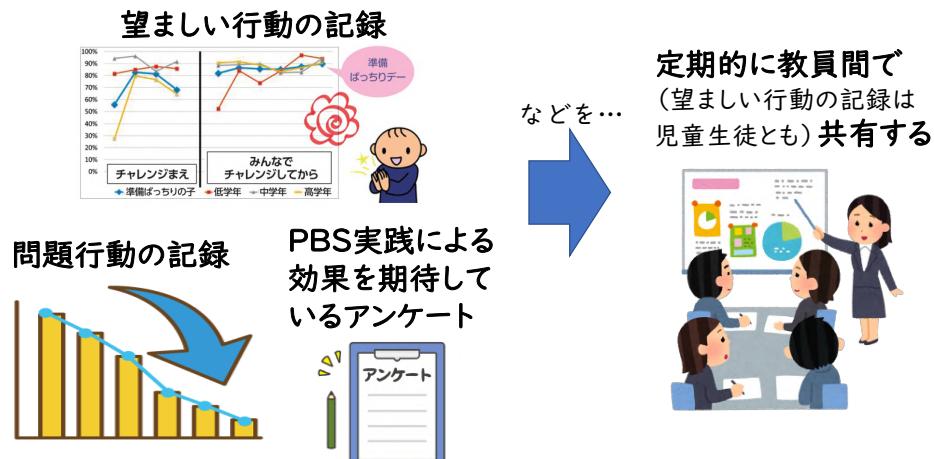
## 地域連携するパターン

学校行事の際に保護者・  
地域住民からチケットに  
コメントを書いてもらう



# 項目10

ポジティブな行動支援の実践に関して、何らかの記録やデータを取り、それを定期的に教員間で共有したり、児童生徒へのフィードバックに活用している



## 参考書籍



## ポジティブ行動支援 Positive Behavior Support

徳島県では、令和4年度までは「ポジティブ行動支援」を、令和5年度からは「ポジティブ行動支援」で検索されています。(ホームページ内では、両方の言葉が使われています。)

研修資料・教材例 研修用動画 実践事例 パンフレット

定期的に教員間で(望ましい行動の記録は児童生徒とも)共有する

などを…

「特別支援まなびの広場」で検索  
→ポジティブ行動支援  
→パンフレット等

徳島県立総合教育センター特別支援・相談課

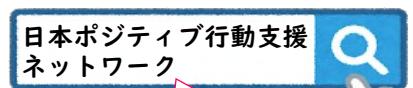
キラキラ2025ポジティブ行動支援実践事例集V (R6年度) (pdf)

キラキラ2024ポジティブ行動支援実践事例集IV (R5年度) (pdf)

キラキラ2023ポジティブ行動支援実践事例集III (R4年度) (pdf)

<https://manabinohiroba.tokushima-ed.jp/3ccf8abe555bf918ea912652b4aaa547>

## ポジティブ行動支援に興味を持たれたら…



Zoomセミナー、実践交流会を毎月実施しています

日本ポジティブ行動支援ネットワーク(APBS Network Japan)とは

日本ポジティブ行動支援ネットワーク(国際名称APBS Network Japan, 略称APBS-J)は、「ポジティブ行動支援」(PBS)の実践・研究・普及を目的とする国際組織であるThe Association for Positive Behavior Supportの日本組織として正式に承認された団体です。(2017年3月1日 承認)

APBS Network Japan

日本ポジティブ行動支援ネットワーク(APBS Network Japan)は、行動支援に関する専門的知見によって、人々の生活の質を生涯に渡って高めることを目指します。科学的に効果が検証された「ポジティブ行動支援」を推進し、人々とその家族、学校、各種機関、地域にとって、社会的に意義のある成果を実現することを目的とします。